

2022年11月期 第2四半期決算説明資料



2022年7月13日

ニッセイ（日本毛織株式会社）

東証プライム市場 3201

2022年11月期 ハイライト



	第2四半期実績			2022.7.13 通期業績予想	
	金額（百万円）	前年同期比(%)	2022.7.13 業績予想進捗(%)	金額（百万円）	前年同期比(%)
売上高	53,616	6.1%	46.6%	115,000	7.9%
営業利益	5,187	10.4%	50.9%	10,200	3.0%
経常利益	5,811	32.0%	55.3%	10,500	7.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益(四半期純利益)	3,811	265.1%	54.4%	7,000	-15.7%

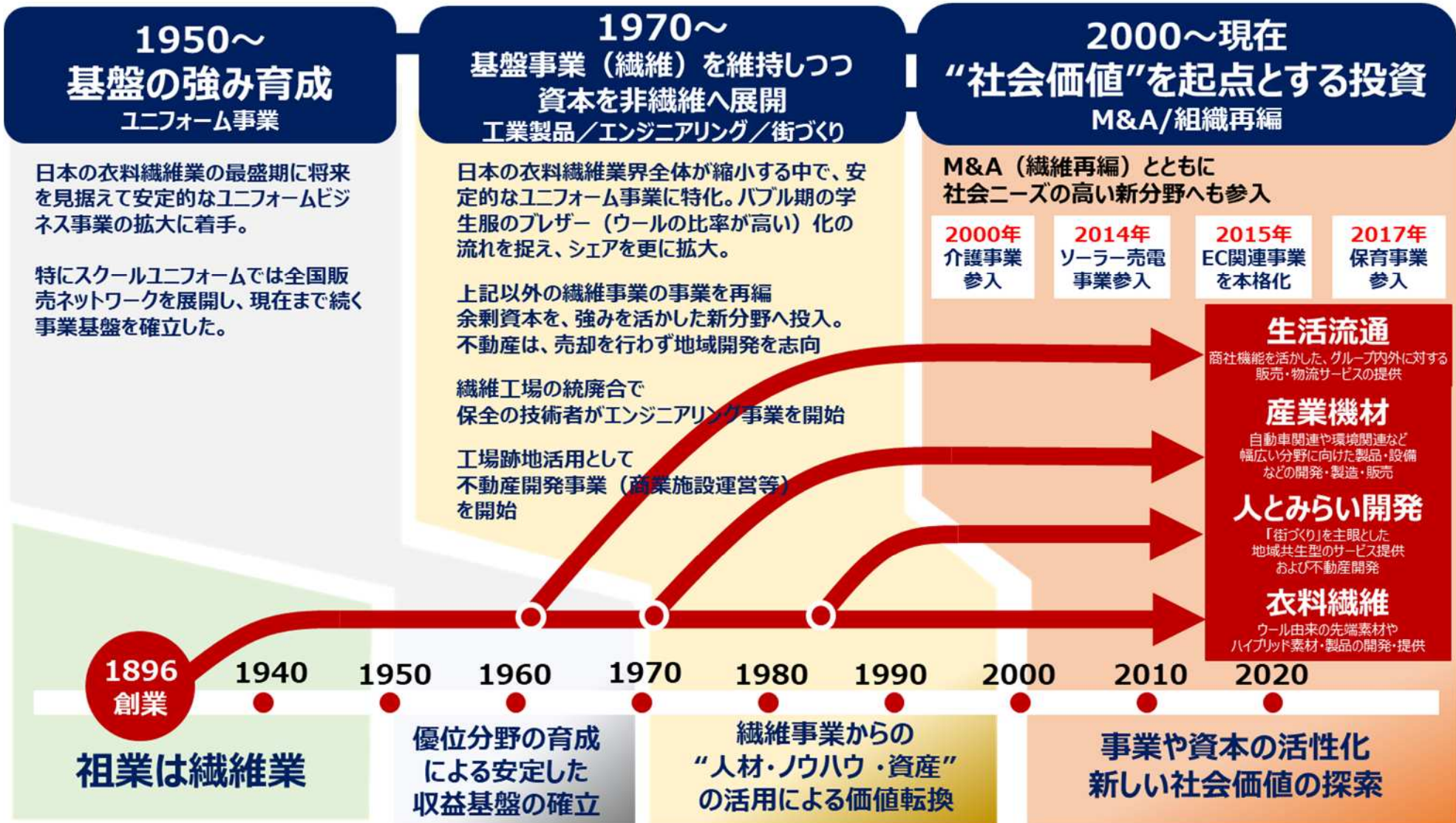
■ 第2四半期実績

- ・前年同期比で増収増益
- ・通期業績予想に対して概ね計画通りに進捗

■ 通期業績予想

- ・前年同期比で増収、営業利益・経常利益は増益予想（全社合計は当初予想から変更なし）
- ・(株)フジコーの完全子会社化に伴う負ののれん発生益計上のあった前年同期との比較では、親会社株主に帰属する当期純利益は減益予想

ニッケグループの歩み 価値転換の歴史



人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジし、持続可能な社会の実現と社会課題の解決に向けて貢献してまいります。

健康・快適への取り組み

- 地域に根差した街づくり、地域密着型SC
- ライフサポート関連事業の拡大（保育、キッズランド、介護、スポーツ）
- 制服の供給を通じた教育環境への貢献
- 環境教育プログラム・教育研究所による教育支援活動
- メディカル関連への取り組み



安心・安全への取り組み

- 安心・安全・快適な製品・サービスの提供
- トレース可能なバリューチェーンの構築
- 技術革新の推進、基礎研究の促進



環境への取り組み

- 天然素材であるウールの特性を生かした環境配慮素材の開発
- 環境フィルターの開発・提供による環境問題の改善
- 太陽光発電の設置による環境負荷の低減
- 回収・リサイクル活動の促進による環境負荷の低減
- 省エネルギー活動の促進、CO2排出量の削減、廃棄物の削減







経営基盤の強化

- コンプライアンス遵守の徹底
- 健康経営の実践
- ダイバーシティの推進・強化 等



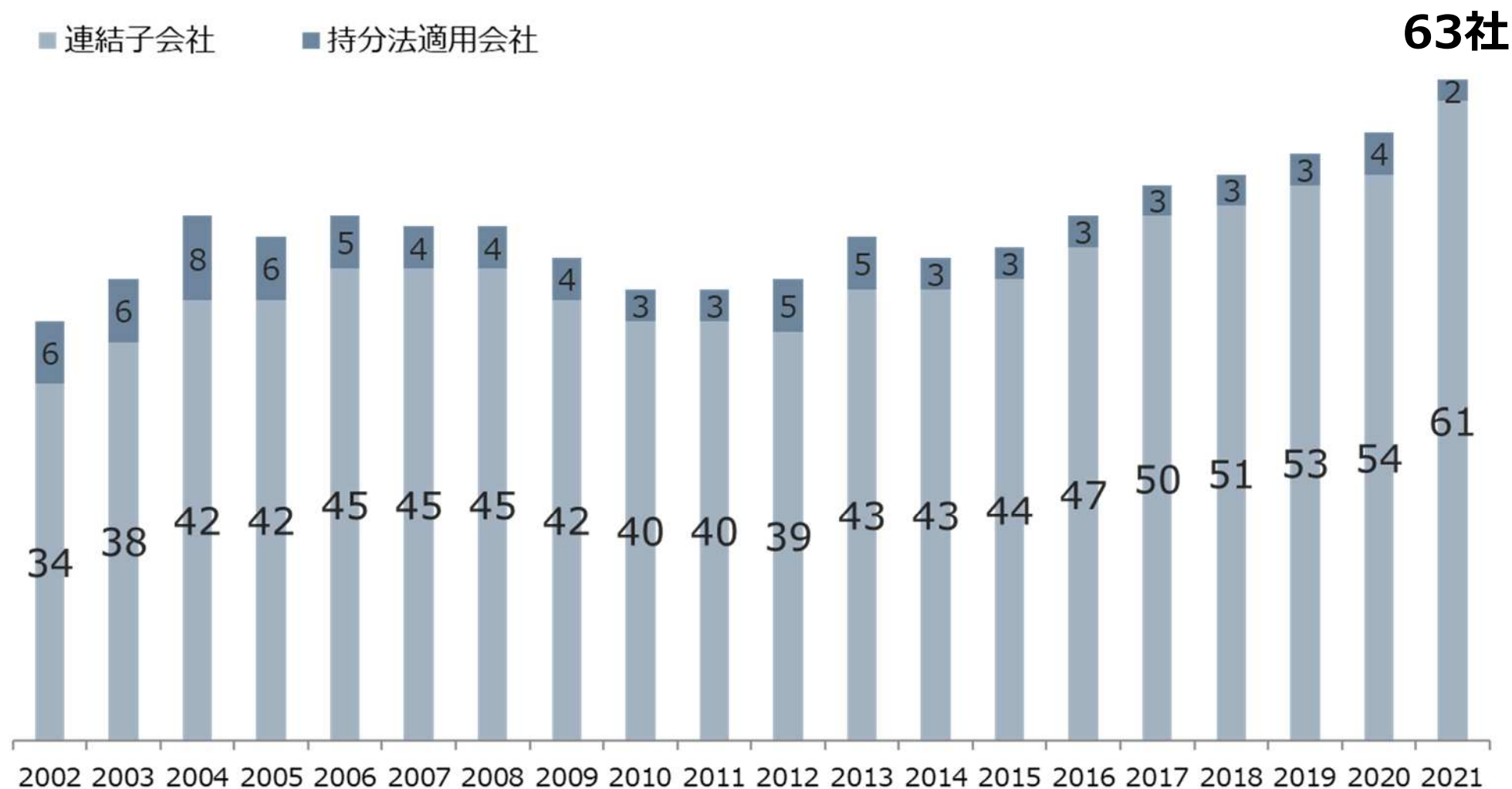
ニッケグループの事業領域とサービス

売上構成	事業領域	セグメント内 売上構成	主な取り扱い商品・サービス
 衣料繊維 事業 28%	<ul style="list-style-type: none"> ■ ユニフォーム ■ テキスタイル ■ ヤーン ■ その他 	84% 12% 3% 1%	<u>学校制服用素材</u> ／ <u>一般企業制服用素材</u> ／ <u>官公庁制服用素材</u> <u>一般衣料用素材</u> <u>売糸</u> <u>その他</u>
 産業機材 事業 23%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自動車関連 ■ 環境関連 ■ その他産業関連 ■ 生活関連 	38% 10% 37% 15%	<u>FA/緩衝材/エアバッグ・シートベルト用縫製糸/モーター結束紐</u> <u>フィルター/エネルギー関連設備</u> <u>OA・家電向け資材/半導体関連部品</u> <u>ラケットスポーツ関連/フィッシング関連/楽器用資材</u>
 人とみらい 開発事業 32%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商業施設運営 ■ 不動産開発 ■ ライフサポート ■ 通信・新規サービス 	13% 27% 23% 36%	<u>商業施設運営</u> <u>不動産賃貸/ソーラー売電事業/建設事業</u> <u>保育・学童保育/介護/スポーツ関連</u> <u>通信関連/キッズランド/フランチャイズ事業</u>
 生活流通 事業 17%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 寝装品・業務用品 ■ 生活雑貨 ■ ホビー・クラフト ■ その他 	24% 49% 18% 9%	<u>寝装品/航空機内膝掛毛布/災害備蓄用毛布</u> <u>生活家電・雑貨/100円ショップ向け雑貨/家具/フィルム</u> <u>スタンプ用インク・スタンプ/乗馬用品/手編毛糸</u> <u>コンテナ販売/保険代理店</u>

※売上構成・セグメント内売上構成は2022年11月期 第2四半期実績ベース

※売上構成は全社売上高からその他・調整部門売上高1,827百万円を除いた売上高をベースに算出

ニッケグループ会社数の推移



※各年11月末時点でのニッケグループ会社数

主な連結対象範囲・期間の変更

2022年11月期から(株)フジコー、(株)ワイワイを通期連結開始

会計年度	連結対象	1Q	2Q	3Q	4Q
2021/11期	(株)フジコー				2カ月 ※1
2022/11期	(株)フジコー	12カ月			
	(株)ワイワイ	12カ月			

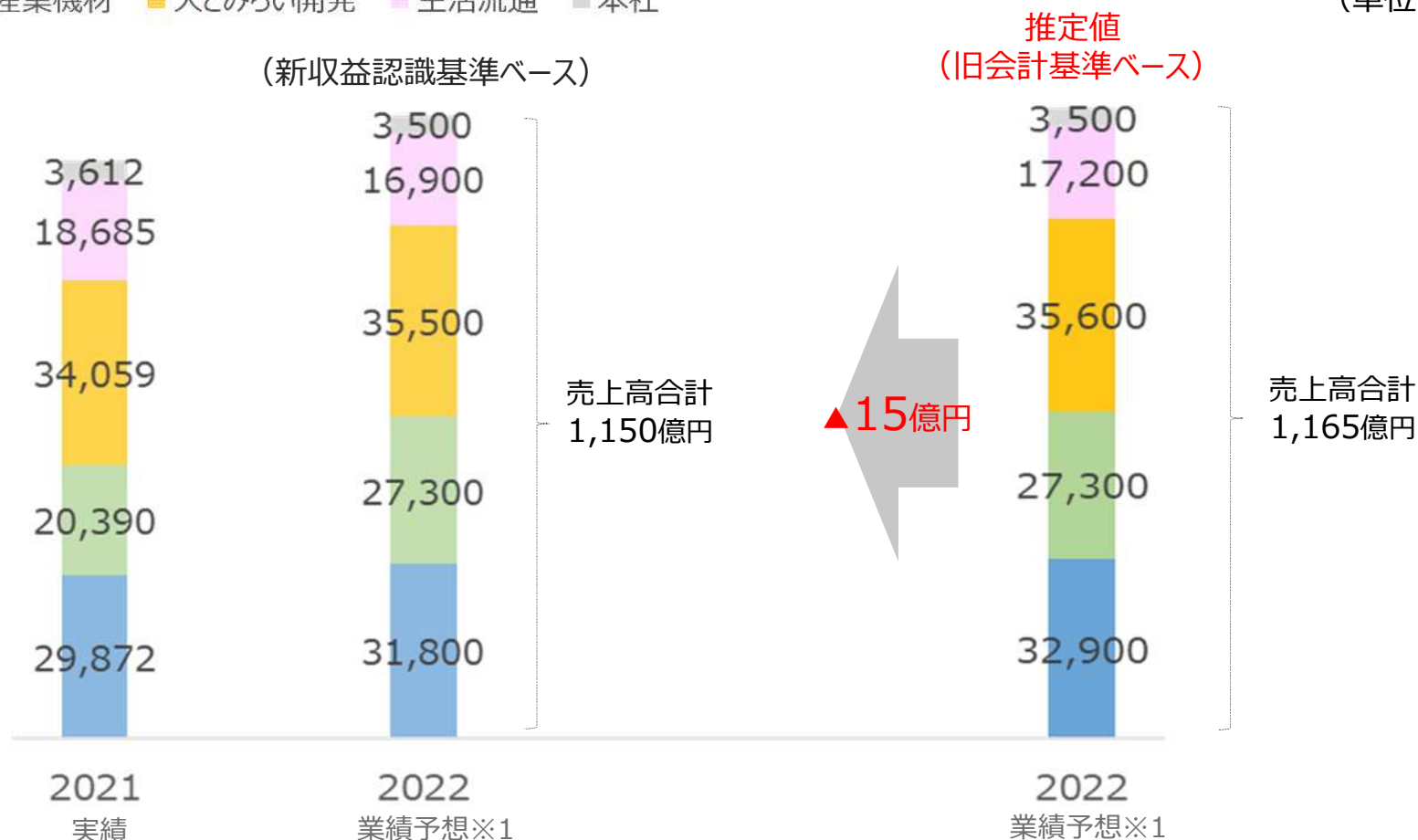
※1 (株)フジコーグループ9社の内、(株)フジコー（単体）、(株)三和フェルトの国内2社を2カ月、他海外子会社7社を3カ月を連結

新収益認識基準適用の売上高への影響

2022年11月期は新収益認識基準適用により、旧会計基準ベース比で、売上高▲15億円程度の影響を受ける見込み（利益への影響は軽微）

■ 衣料繊維 ■ 産業機材 ■ 人とみらい開発 ■ 生活流通 ■ 本社

(単位：百万円)



※1 2022年7月13日時点の業績予想

1. 2022年11月期 第2四半期実績	P10～
2. 2022年11月期 業績予想	P21～
3. RN130第2次中計進捗	P29～
4. 株主還元	P39～
5. トピックス	P43～
6. 参考資料	P49～

1. 2022年11月期 第2四半期実績



連結業績概要



衣料繊維事業および当期から(株)フジコーの通期連結が
寄与する産業機材事業の業績が好調で増収増益

(単位：百万円)	第2四半期実績			前年同期比増減		2022.7.13 業績予想進捗
	2020/11月期	2021/11月期	2022/11月期	金額	比率	比率
売上高	52,451	50,532	53,616	3,083	6.1%	46.6%
営業利益	4,200	4,699	5,187	487	10.4%	50.9%
営業利益率	8.0%	9.3%	9.7%	0.4%	-	-
経常利益	4,794	4,401	5,811	1,409	32.0%	55.3%
特別損益	-493	-2,178	79	2,257	-	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,782	1,044	3,811	2,767	265.1%	54.4%

セグメント別業績



		第2四半期実績		前年同期比増減	
		2021/11月期	2022/11月期	金額	比率
衣料繊維事業	売上高	13,224	14,258	1,033	7.8%
	営業利益	1,021	1,471	449	44.0%
	営業利益率	7.7%	10.3%	2.6%	-
産業機材事業	売上高	9,170	11,685	2,515	27.4%
	営業利益	460	663	202	44.0%
	営業利益率	5.0%	5.7%	0.7%	-
人とみらい 開発事業	売上高	16,127	16,816	688	4.3%
	営業利益	3,016	3,195	178	5.9%
	営業利益率	18.7%	19.0%	0.3%	-
生活流通事業	売上高	10,209	9,029	-1,180	-11.6%
	営業利益	1,004	634	-369	-36.8%
	営業利益率	9.8%	7.0%	-2.8%	-
その他・調整	売上高	1,801	1,827	26	1.5%
	営業利益	-805	-777	27	-
合計	売上高	50,532	53,616	3,083	6.1%
	営業利益	4,699	5,187	487	10.4%
	営業利益率	9.3%	9.7%	0.4%	-

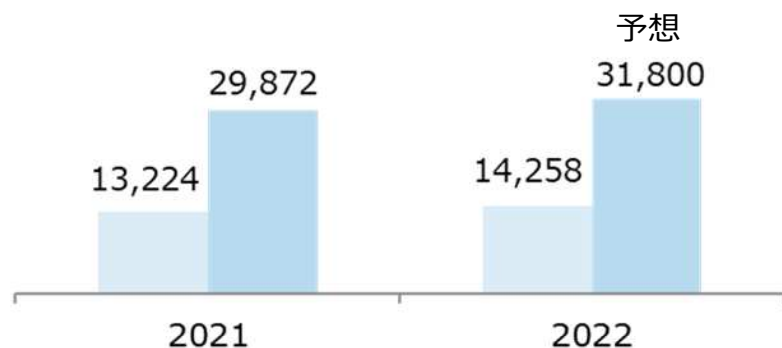


衣料繊維事業



売上高 14,258百万円 前年同期比 + 7.8%
営業利益 1,471百万円 前年同期比 +44.0%

■ 中間 ■ 通期 売上高 単位：百万円



<業績概要>

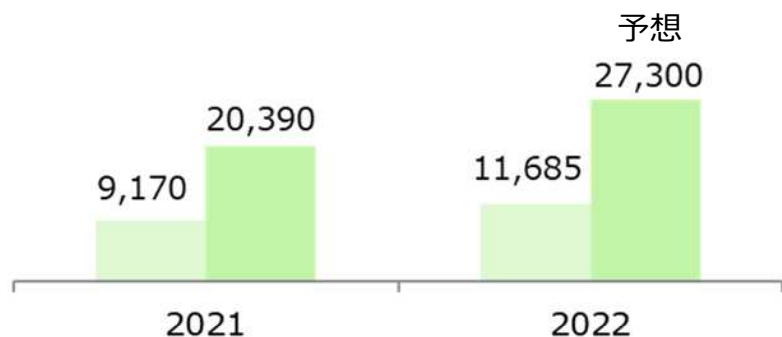
- ✓ 学校制服用素材の販売は、新規受注増で堅調。
- ✓ 官公庁制服用素材の販売は、警察向けが調達予算削減の影響で低調。
- ✓ 一般企業制服用素材の販売は、コロナ禍の影響による市況悪化が継続し低調。
- ✓ 一般衣料用素材は、ウイズコロナを進める欧米からの引き合いが増加し海外販売が好調。

産業機材事業

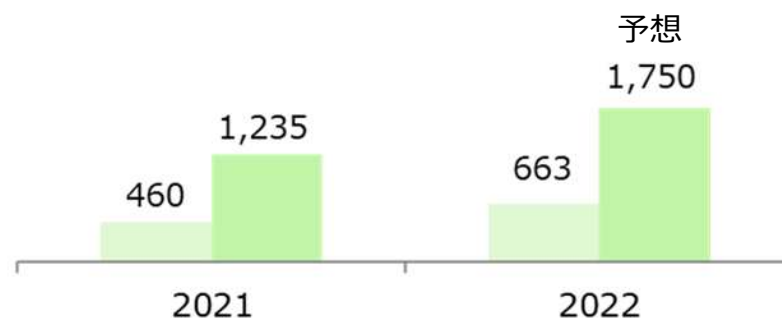


売上高 11,685百万円 前年同期比 +27.4%
営業利益 663百万円 前年同期比 +44.0%

■ 中間 ■ 通期 売上高 単位：百万円



営業利益



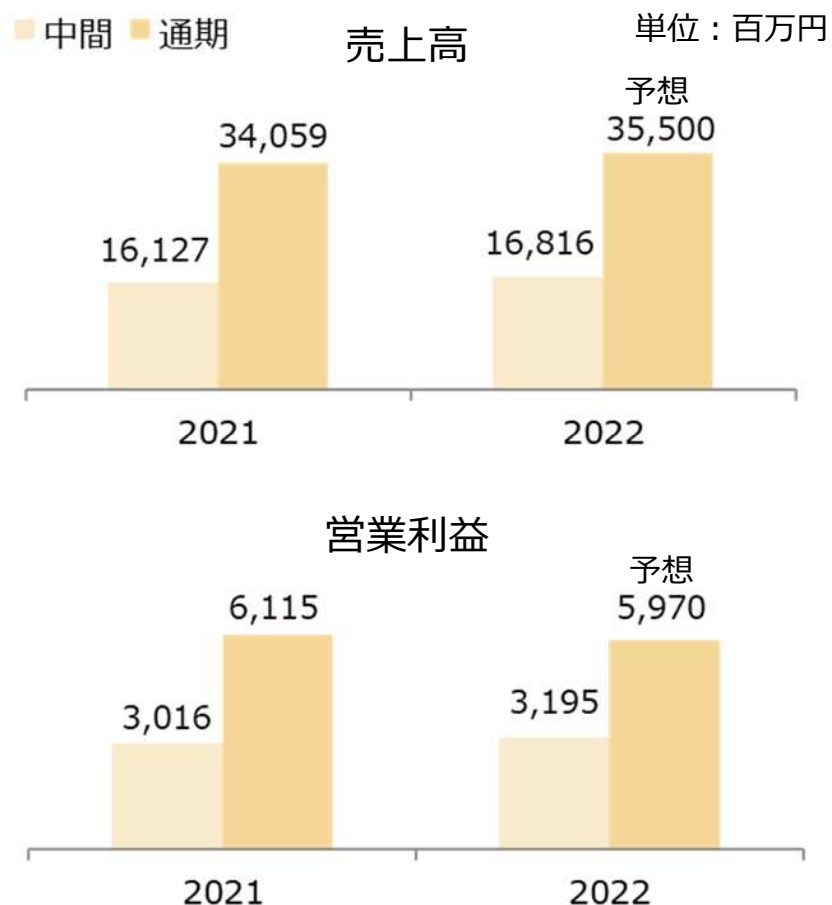
<業績概要>

- ✓ 車両向け不織布・縫製糸、結束紐等は、フジコーが連結寄与した影響もあり堅調。
- ✓ 車載電装品製造ラインのFA設備は、前年同期並。
- ✓ 半導体関連装置や画像検査装置は5GやPC等の需要増加で堅調。
- ✓ 環境用フィルターは、フジコーが連結寄与した影響もあり堅調。
- ✓ ラケットスポーツ関連は低調もフィッシング関連は好調。

人とみらい開発事業



売上高 16,816百万円 前年同期比 +4.3%
営業利益 3,195百万円 前年同期比 +5.9%



<業績概要>

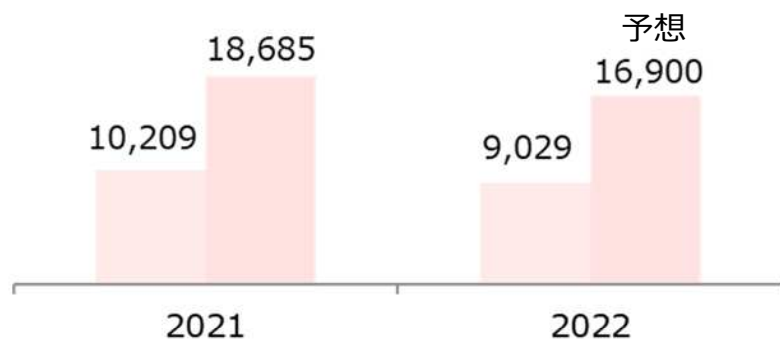
- ✓ 商業施設運営は、コロナ禍による時短営業等の影響を一部受けるも、前年同期並。
- ✓ 建設関連は、受注済み物件が完工し堅調。
- ✓ 保育関連は保育園の入園者数が増加し好調。
- ✓ 介護関連は昨年開業した大型施設で入居者数が増加し堅調。
- ✓ キッズランド事業はコロナ禍で低調だった前年同期との比較では、利用者数が増加し好調。

生活流通事業

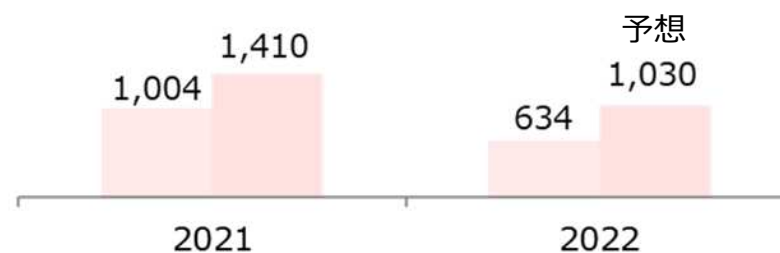


売上高 9,029百万円 前年同期比 ▲11.6%
営業利益 634百万円 前年同期比 ▲36.8%

■ 中間 ■ 通期 売上高 単位：百万円



営業利益



<業績概要>

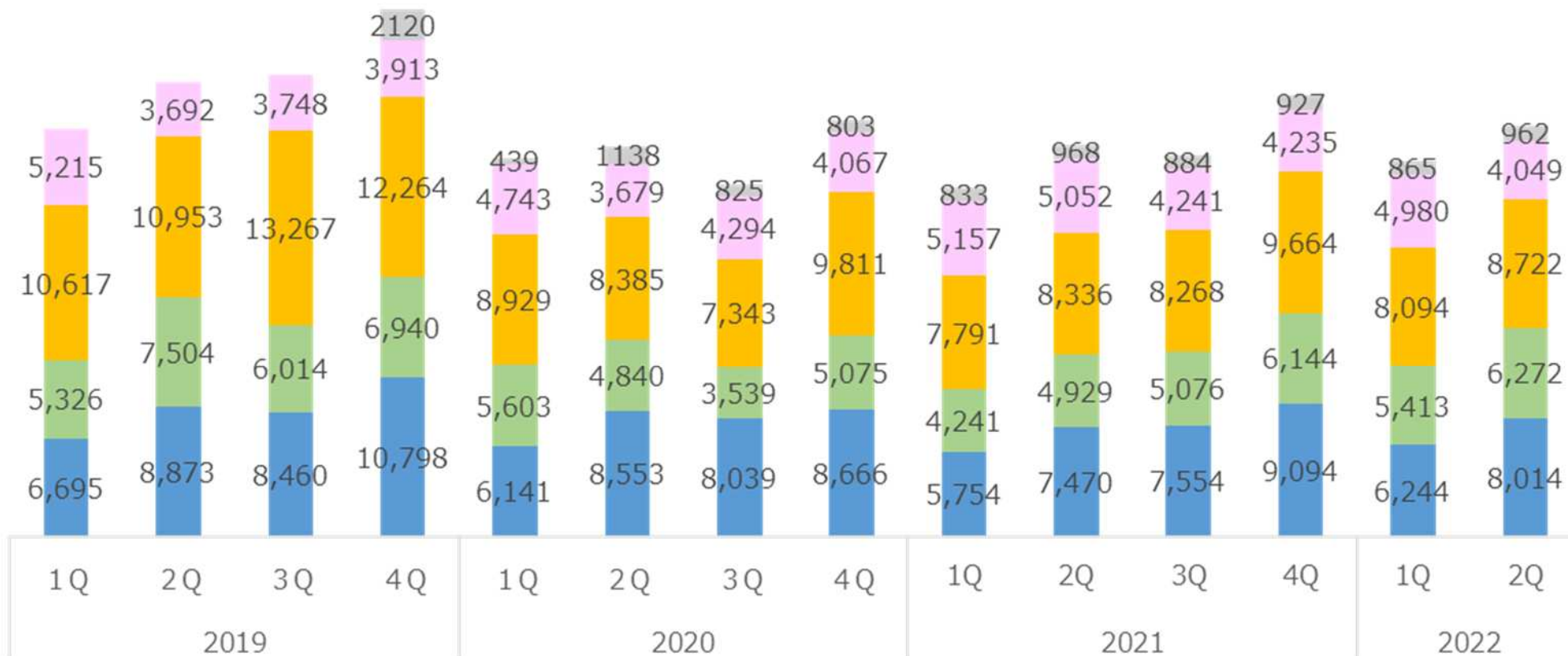
- ✓ EC向け寝装品・家具販売は低調。
- ✓ 業務用品は官公庁向けに感染防護衣の販売があった前年同期との比較では不調。
- ✓ スタンプ販売は新商品が牽引し堅調も、スタンプ用インクの販売は低調。
- ✓ EC向け生活家電販売は、巣ごもり需要一巡で不調。
- ✓ 100円ショップ向け等の雑貨販売は、当期より株式会社ワイワイがグループに加わり好調。

セグメント別 売上高 四半期推移



(単位：百万円)

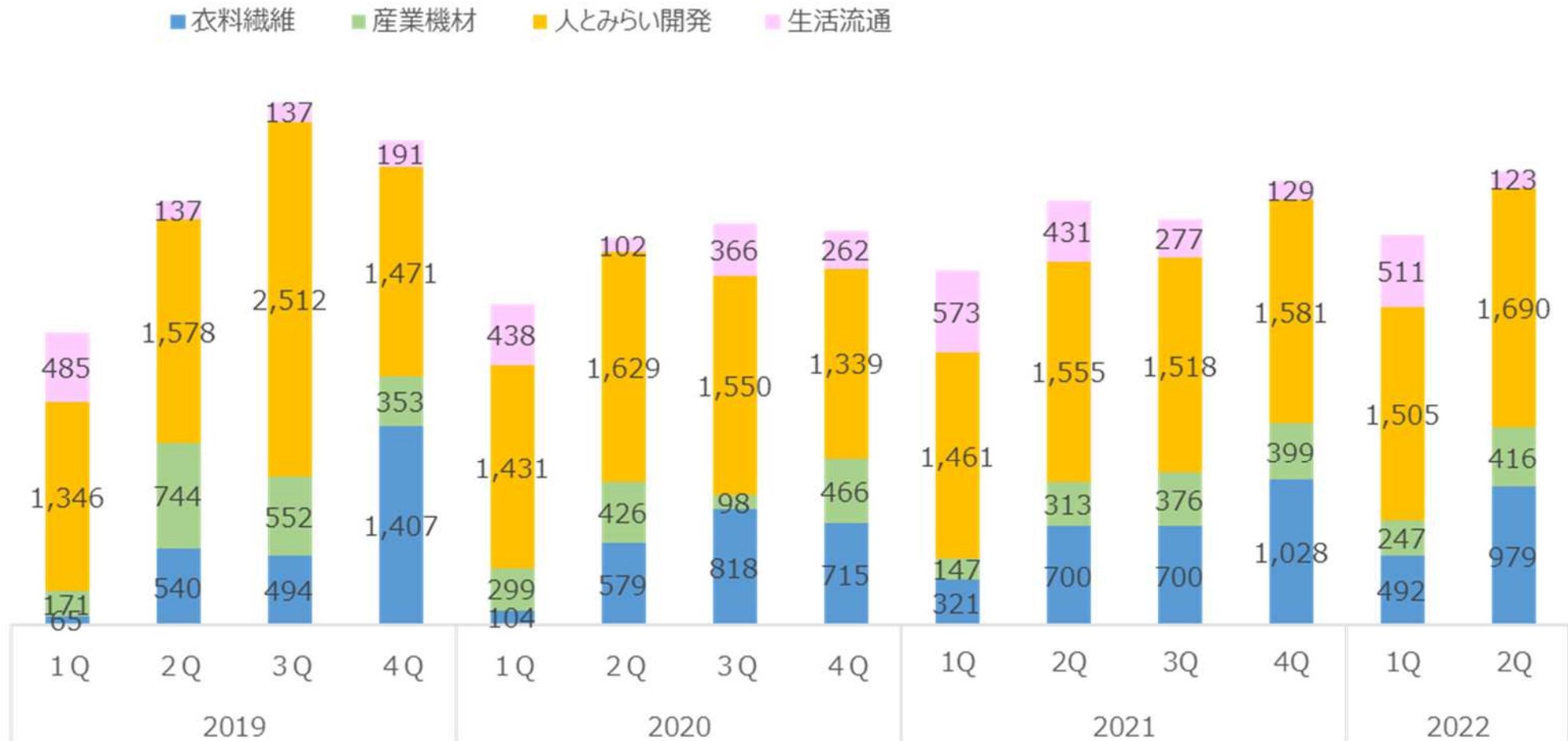
■衣料繊維 ■産業機材 ■人とみらい開発 ■生活流通 ■本社



セグメント別 営業利益 四半期推移



(単位：百万円)



※その他・調整額は除く

連結貸借対照表／CF サマリー



(単位：百万円)

連結貸借対照表	2021/11	2022/5	増減
流動資産	91,210	95,043	3,832
固定資産	72,421	71,828	-593
資産合計	163,632	166,872	3,239
流動負債	40,157	40,013	-143
固定負債	18,854	19,415	560
負債合計	59,012	59,429	416
株主資本	99,311	101,208	1,896
その他包括利益累計額	3,625	4,492	866
非支配株主持分	1,682	1,742	59
純資産合計	104,620	107,443	2,822
連結C/F	2021/2Q累計	2022/2Q累計	増減
営業キャッシュフロー	7,171	6,196	-974
投資キャッシュフロー	-1,434	-1,264	170
財務キャッシュフロー	2,482	518	-1,964
現金及び現金同等物の期末残高	38,280	46,691	8,411

設備投資／M&A推移



設備投資推移

(単位：百万円)



2022年度 設備投資計画進捗

投資案件	計画	内実績
環境用フィルター中国工場新設	約 11億円	10.9億円
SCRリニューアル等関連工事	約 10億円	1.0億円
収益不動産の取得	約 30億円	—
衣料繊維製造設備合理化投資	約 20億円	1.4億円
その他投資	約 18億円	5.2億円
合計	約 89億円	18.5億円

RN130第2次中計 M&A進捗

RN130第2次中計 M&A投資枠	RN130第2次中計 (2021~2023)			
	区分	2021/11月期	2022/11月期	2023/11月期
200億円	案件	(株)フジコー・(株)ワイワイ	随時 6~7件の案件を検討	
	投資額	約 33億円	—	

2.2022年11月期 業績予想



事業環境認識



事業部	事業環境認識（見通し）	
	短期～中期	長期
衣料繊維事業	<ul style="list-style-type: none"> ・一般企業制服用素材は市況悪化が継続 ・円安進行に伴う羊毛原料調達コストの増加 ・製造工場でのエネルギー費の高騰 ・物流費の高騰 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化による国内学生服市場の縮小 ・LGBTQ対応で学生服のプレザー化が進む ・中国で学生服市場が拡大
産業機材事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連（資材）は自動車生産台数減産の懸念は残るも概ね堅調 ・製造工場でのエネルギー費の高騰 ・産業資材原料、機械部材価格の高騰 ・物流費の高騰 	<ul style="list-style-type: none"> ・EVや自動運転関連需要の増加で自動車関連分野の市場が拡大 ・規制強化が進む中国で環境関連分野の市場が拡大 ・工場自動化、5G対応等のインフラ投資の加速でFA市場が拡大
人とみらい 開発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズランド事業（屋内型遊園地）はコロナによる利用者減少が徐々に回復 ・ショッピングセンター等、各施設でのエネルギー費の高騰 ・建設関連事業での建築資材コストの高騰 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護、保育関連市場が拡大
生活流通事業	<ul style="list-style-type: none"> ・EC関連市場の拡大ペースが減速 ・各仕入商品価格の高騰 ・物流費の高騰 	<ul style="list-style-type: none"> ・ECがライフスタイルとして定着 ・EC関連市場の競争が激化

2022年11月期 業績予想



前年同期比で増収、営業利益・経常利益は増益を見込む
衣料繊維事業と産業機材事業で増収増益の予想

	実績		2022.7.13 予想	前年同期比増減	
	2020/11月期	2021/11月期	2022/11月期	金額	比率
(単位：百万円)					
売上高	104,915	106,619	115,000	8,380	7.9%
営業利益	9,048	9,900	10,200	299	3.0%
営業利益率	8.6%	9.3%	8.9%	-0.4%	-
経常利益	12,655	9,784	10,500	716	7.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,121	8,308	7,000	-1,308	-15.7%

2022年11月期 セグメント別業績予想



(単位：百万円)		実績		予想		前年同期比増減	
		2020/11月期	2021/11月期	2022/11月期		金額	比率
				2022.1.14	2022.7.13		
衣料繊維	売上高	31,399	29,872	32,400	31,800	1,928	6.5%
	営業利益	2,216	2,749	3,200	3,200	450	16.4%
	営業利益率	7.1%	9.2%	9.9%	10.1%	0.9%	-
産業機材	売上高	19,057	20,390	28,000	27,300	6,910	33.9%
	営業利益	1,289	1,235	1,800	1,750	515	41.7%
	営業利益率	6.8%	6.1%	6.4%	6.4%	0.3%	-
人とみらい 開発	売上高	34,468	34,059	33,400	35,500	1,441	4.2%
	営業利益	5,949	6,115	6,000	5,970	-145	-2.4%
	営業利益率	17.3%	18.0%	18.0%	16.8%	-1.2%	-
生活流通	売上高	16,783	18,685	18,000	16,900	-1,785	-9.6%
	営業利益	1,168	1,410	1,300	1,030	-380	-27.0%
	営業利益率	7.0%	7.6%	7.2%	6.1%	-1.5%	-
その他・ 調整	売上高	3,205	3,612	3,200	3,500	-112	-3.1%
	営業利益	-1,574	-1,610	-2,100	-1,750	-140	-
合計	売上高	104,915	106,619	115,000	115,000	8,380	7.9%
	営業利益	9,048	9,900	10,200	10,200	299	3.0%
	営業利益率	8.6%	9.3%	8.9%	8.9%	-0.4%	-



2022年11月期 衣料繊維事業



	実績		予想		前年同期比増減	
	2020/11月期	2021/11月期	2022/11月期		金額	比率
			2022.1.14	2022.7.13		
(単位：百万円)						
売上高	31,399	29,872	32,400	31,800	1,928	6.5%
営業利益	2,216	2,749	3,200	3,200	450	16.4%
営業利益率	7.1%	9.2%	9.9%	10.1%	0.9%	-

売上・利益
増減要因

- ✓ 学校制服用素材は流通在庫の解消や、ジェンダーレス制服へのモデルチェンジ増加も、一部新収益認識基準の適用により減収増益予想。
- ✓ 一般企業制服用素材は機能素材（防刃素材）の拡販を見込むも、コロナ禍で低迷した市況の回復が遅れ、減収減益予想
- ✓ 一般衣料用素材は海外販売の拡大やコロナ禍で低迷していた市況の回復を見込み、増収増益予想。
- ✓ エネルギー費・原材料・物流費の高騰による製造コストの上昇。



2022年11月期 産業機材事業



	実績		予想		前年同期比増減	
	2020/11月期	2021/11月期	2022/11月期		金額	比率
			2022.1.14	2022.7.13		
(単位：百万円)						
売上高	19,057	20,390	28,000	27,300	6,910	33.9%
営業利益	1,289	1,235	1,800	1,750	515	41.7%
営業利益率	6.8%	6.1%	6.4%	6.4%	0.3%	-

売上・利益
増減要因

- ✓ 車載電装品製造ラインのFA設備は、コロナ禍で低迷していた市況の回復が遅れているものの、不調だった前年同期との比較では、増収増益予想。
- ✓ フジコーは当期から通期連結により、大幅増収増益予想。
- ✓ エネルギー費・原材料・物流費の高騰による製造コストの上昇。



2022年11月期 人とみらい開発事業



	実績		予想		前年同期比増減	
	2020/11月期	2021/11月期	2022/11月期		金額	比率
			2022.1.14	2022.7.13		
(単位：百万円)						
売上高	34,468	34,059	33,400	35,500	1,441	4.2%
営業利益	5,949	6,115	6,000	5,970	-145	-2.4%
営業利益率	17.3%	18.0%	18.0%	16.8%	-1.2%	-

売上・利益
増減要因

- ✓ 商業施設運営は、一部リニューアル工事等の影響で、減収減益予想。
- ✓ キッズランド事業は、コロナ禍で減少していた利用者数の回復を見込み、増収増益予想。
- ✓ 保育関連事業は、計画通り事業が伸長しており、増収増益予想。
- ✓ エネルギー費・建築資材の高騰によるコストの上昇。



2022年11月期 生活流通事業



	実績		予想		前年同期比増減	
	2020/11月期	2021/11月期	2022/11月期		金額	比率
			2022.1.14	2022.7.13		
(単位：百万円)						
売上高	16,783	18,685	18,000	16,900	-1,785	-9.6%
営業利益	1,168	1,410	1,300	1,030	-380	-27.0%
営業利益率	7.0%	7.6%	7.2%	6.1%	-1.5%	-

売上・利益
増減要因

- ✓ ホビー・クラフト（スタンプ・スタンプ用インク）関連分野は、新商品の開発や事業の効率化等で、増収増益予想。
- ✓ EC向けの生活家電・寝装品・家具等の販売が、好調だった前期との比較では低調な事に加え、収益認識基準適用や広告宣伝費の高騰で減収減益予想。
- ✓ 急速な円安進行や物流費高騰による仕入れコストの上昇。

3 .RN130第2次中計進捗



RN130第2次中計進捗



RN130第2次中計初年度は売上高、利益とも中期計画を上回る
2年目となる当期も中期計画比で増収増益、ROE8%以上をめざす

RN130第2次中計（2021～2023）

	2021/11月期		2022/11月期		2023/11月期	
	中期計画	実績	中期計画	2022.7.13 業績予想	中期計画	業績予想
(単位：百万円)						
売上高	107,000	106,619	114,000	115,000	127,000	127,000
営業利益	8,600	9,900	9,500	10,200	11,500	11,500
営業利益率	8.0%	9.3%	8.3%	8.9%	9.1%	9.1%
経常利益	8,200	9,784	9,700	10,500	11,700	11,700
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,000	8,308	6,500	7,000	7,800	7,800
ROE	—	8.4%	—	8.0%以上	7.0%以上	8.0%以上

RN130第2次中計進捗 セグメント別



RN130第2次中計（2021~2023）

		2021/11月期		2022/11月期		2023/11月期
		中期計画	実績	中期計画	2022.7.13 業績予想	中期計画
(単位：百万円)						
衣料繊維	売上高	32,000	29,872	34,500	31,800	36,700
	営業利益	2,700	2,749	3,200	3,200	3,650
	営業利益率	8.4%	9.2%	9.3%	10.1%	10.0%
産業機材	売上高	22,000	20,390	24,000	27,300	27,200
	営業利益	1,200	1,235	1,550	1,750	2,150
	営業利益率	5.5%	6.1%	6.5%	6.4%	7.9%
人とみらい 開発	売上高	33,000	34,059	34,000	35,500	37,400
	営業利益	5,700	6,115	6,000	5,970	6,650
	営業利益率	17.3%	18.0%	17.7%	16.8%	17.8%
生活流通	売上高	17,000	18,685	17,500	16,900	20,700
	営業利益	1,100	1,410	1,250	1,030	1,550
	営業利益率	6.5%	7.6%	7.2%	6.1%	7.5%
その他・ 調整	売上高	3,000	3,612	4,000	3,500	5,000
	営業利益	-2,100	-1,610	-2,500	-1,750	-2,500
合計	売上高	107,000	106,619	114,000	115,000	127,000
	営業利益	8,600	9,900	9,500	10,200	11,500
	営業利益率	8.0%	9.3%	8.3%	8.9%	9.1%

ニッケグループの今後の成長ドライバー



- ① 海外ビジネスの拡大
- ② 地域密着と再開発
- ③ EC販売
- ④ フジコーとのシナジー

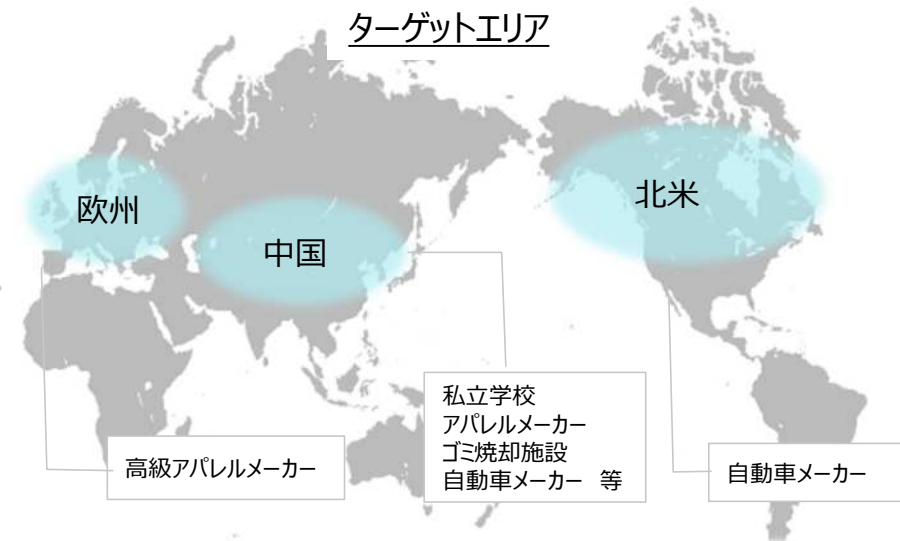
成長ドライバー進捗 ①海外ビジネスの拡大



繊維・産業用資材等の国内市場は飽和・縮小傾向
事業環境（EV化、中国環境規制等）を後押しに海外ビジネスを拡大を目指す



海外
拡販



- ✓ コロナ禍の影響で、海外ビジネス全般に進捗の遅れ。
- ✓ 学生服事業は、今後中国市場の状況を見極めながら長期的な視点で育成。
- ✓ 環境用フィルターの販売は、2021年12月に中国の新工場が竣工も、上海ロックダウン等の影響で低調。

成長ドライバー進捗 ②地域密着と再開発



ライフサポート分野を中心とした地域密着型の複合的な事業展開と
保有資産の再開発で持続可能な社会の実現とともに安定した成長を目指す

ライフサポート関連事業



介護事業



保育事業



スポーツ（テニス・ゴルフ）等

実績

- 2021年3月 **介護** ニッケてとて加古川式番館開業（兵庫）
- 2021年4月 **介護** ニッケあすも一宮式番館開業（愛知）
- 2021年4月 **介護** ニッケあすも加古川式番館開業（兵庫）
- 2021年4月 **保育** ぽっかぽっかにつけ保育園朝霧開園（兵庫）
- 2022年4月 **介護** トータルリハビリテーション トリア開業（千葉）
- 2022年4月 **スポーツ** ニッケゴルフスクールユニオン緑が丘開業（千葉）
- 2022年10月 **SC** ニッケコルトンプラザリニューアル予定（千葉）

主な再開発候補エリア



ニッケコルトンプラザ（南側）
（千葉県市川市）



ニッケ一宮事業所遊休エリア
（愛知県一宮市）



ニッケ東京ビル
（東京都中央区）

2024年秋
竣工予定



ニッケ神戸本店ビル
（兵庫県神戸市）

- ✓ 2021年に開業した大型介護施設・保育園の利用者数は、ほぼ計画通りに推移。
- ✓ ニッケ東京ビルは住友商事(株)と共同で建替え事業に着手（2024年秋竣工予定）。

成長ドライバー進捗 ③EC販売



ニッケグループにナイスデイ、ミヤコ商事、AQUAが加わりEC販売が近年拡大
グループ内の連携強化で今後さらなる成長を目指す

ニッケグループで扱う主なEC関連商材



寝装品



家具

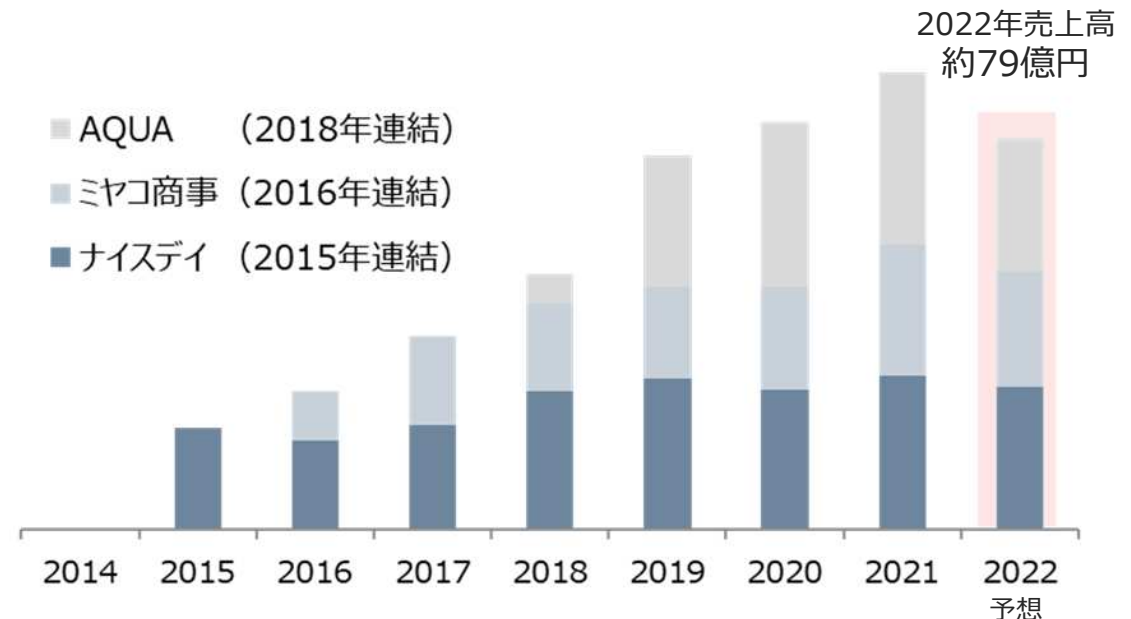


キッチン用品



家電

■ EC販売・流通を主体とする3社売上高



- ✓ 2022年度は巣ごもり消費の需要一巡や、収益認識基準の適用等もあり、減収の見通し。
- ✓ 引き続きニッケグループのEC販売比率向上を目指し、グループ内の連携を強化。

成長ドライバー進捗 ④フジコーとのシナジー



M&Aによる成長投資を着実に実施し2021年9月にフジコーを完全子会社化
不織布事業の生産統合とフジコーの経営合理化で収益拡大を目指す

■これまでの経緯

- 2020年5月 ニッケ・アンビックとフジコーの間で**資本業務提携契約**を締結（30.7%の株式取得）
- 2020年6月 ニッケの産業機材事業本部長が**フジコーの代表取締役社長を兼任**
- 2021年1月 フジコー館林工場を閉鎖し、生産を**アンビック**へ移管
- 2021年9月 ニッケが**フジコーを完全子会社化**
- 2022年～ 2022年11月期会計年度より、**通期で連結開始**



羊毛プレスフェルト製品



協業体制を
さらに強化

- ①各分野における人材交流
- ②国内外における製造インフラの相互利用
- ③購買、販売、管理などの協業
- ④研究、商品開発における協業
- ⑤海外事業の推進に向けた協業

- ✓ 2021年はアンビックと一部生産を統合した効果等で、下期後半から単月黒字化。
- ✓ 2022年は通期で連結開始。協業体制の強化等で、更なる収益の改善を見込む。

資本効率改善に向けた取り組み



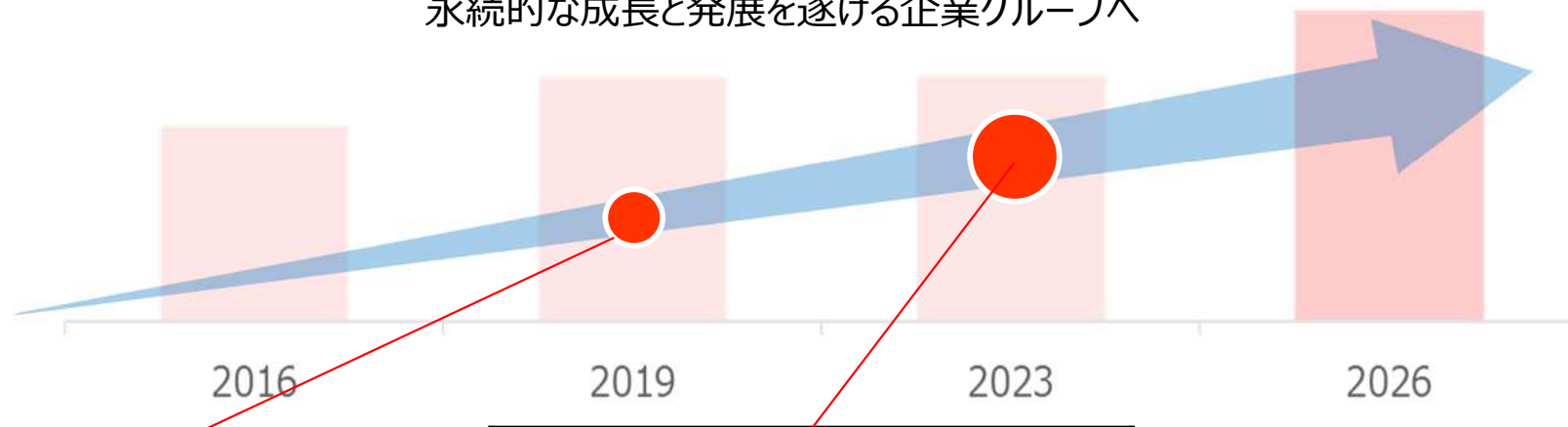
企業価値向上に向けて、さらなる資本効率の改善に取り組み、ROE 8%以上を継続的に達成できる経営体質の実現を目指す

収益性	高収益性事業の拡大	EC関連事業の伸長
	低収益性事業の縮小	通信関連事業の再編、カプセルホテル事業の撤退
	低収益不動産の再開発	ニッケ東京ビルの建て替え事業
	販売価格の見直し	スクールユニフォームの販売価格改定
	経費削減	コロナ禍における全社的な経費削減
効率性	在庫削減	生産工程のシンプル化による在庫削減 省力化・自動化の設備投資によるリードタイム短縮
	稼働率向上	フジコーとアンビックの生産統合による工場稼働率の向上
財務 レバレッジ	株主還元	利益水準に応じた配当の引き上げ（2022年中間配当2円増配） 機動的な自己株式取得の実施（2022年300万株上限に実施）

リニューアル・ニッケ130ビジョン（中長期ビジョン）

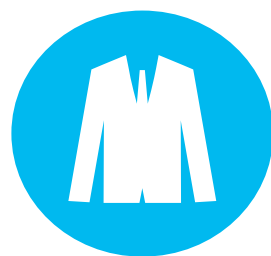
今後10年間のニッケグループの目指す方向性、企業像、経営戦略を再構築し、中長期的な企業価値の向上を目指していく（2016年1月発表）

永続的な成長と発展を遂げる企業グループへ



第1次中期経営計画	第2次中期経営計画	RN130の具現化、さらにその先へ
2017～2019年度	2021～2023年度	2026年度、さらにその先へ
ビジョンを具現化するためのフェーズ1と位置付ける。各事業領域の芽を育て、その発展を軌道に乗せる。	RN130へ向けて加速していく3年間と位置付ける。新型コロナウイルスの影響を注視しながら着実に業績を回復させ、2019年に達成した過去最高の売上利益を更新する。	未開の分野に目を向け、「高機能商品」「地域NO.1サービス」の開発と提供へ挑戦し、各事業が描く「みらい生活創造企業」を目指す。

4. 株主還元



資本政策・株主還元

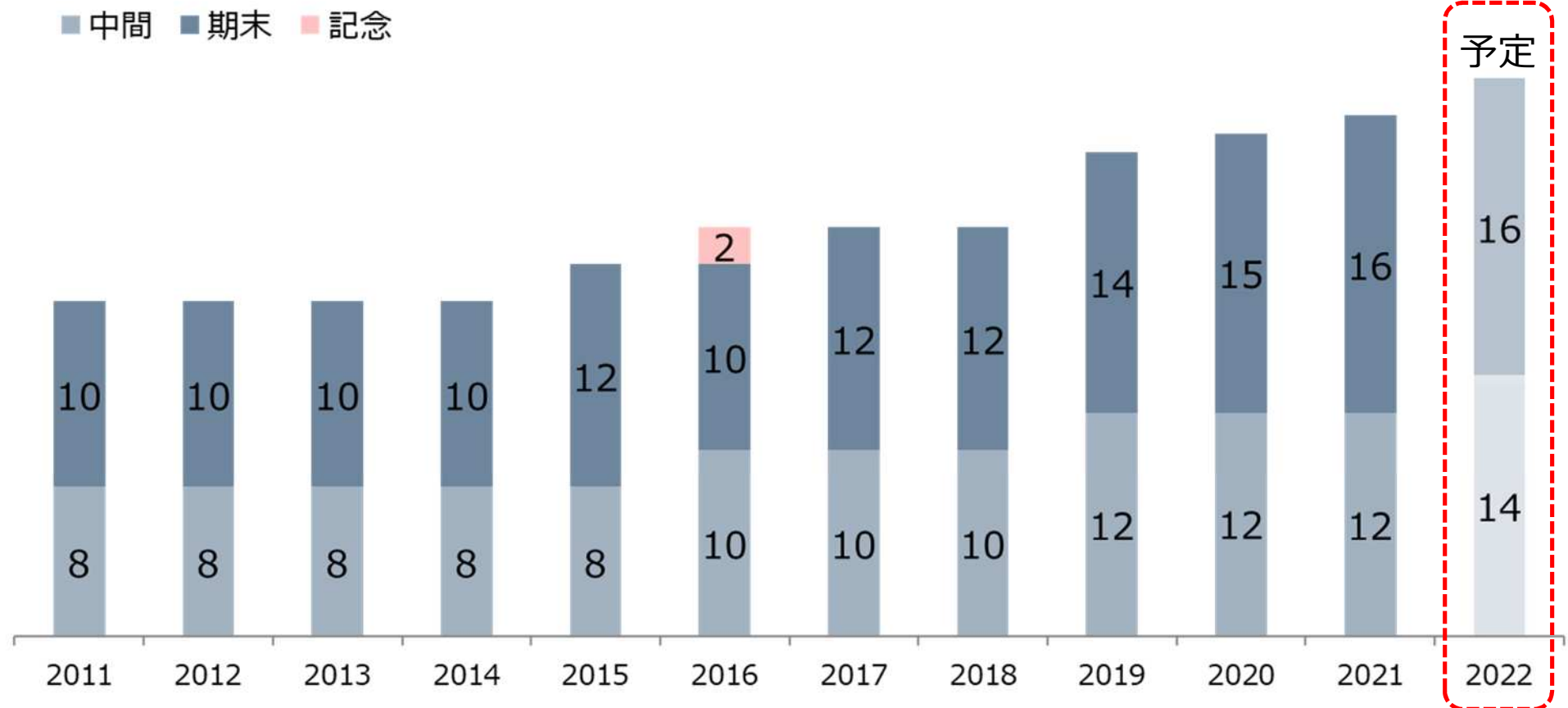


- ①成長投資と安定的な株主還元のバランスを志向する。
- ②成長投資については、研究開発投資、M & A 投資、設備投資、人財投資など、中長期的な企業価値の向上の観点から内からの成長（設備投資）と外からの成長（M & A）のバランスの取れた投資を積極的に実行する。
- ③株主還元については、安定的な配当政策を継続する。配当性向30%、DOE（株主資本配当率）2%を目安とし、利益水準に応じて配当を引き上げていく。また、自己株式取得を含む総合的な株主還元を充実させる。

1 株あたり配当



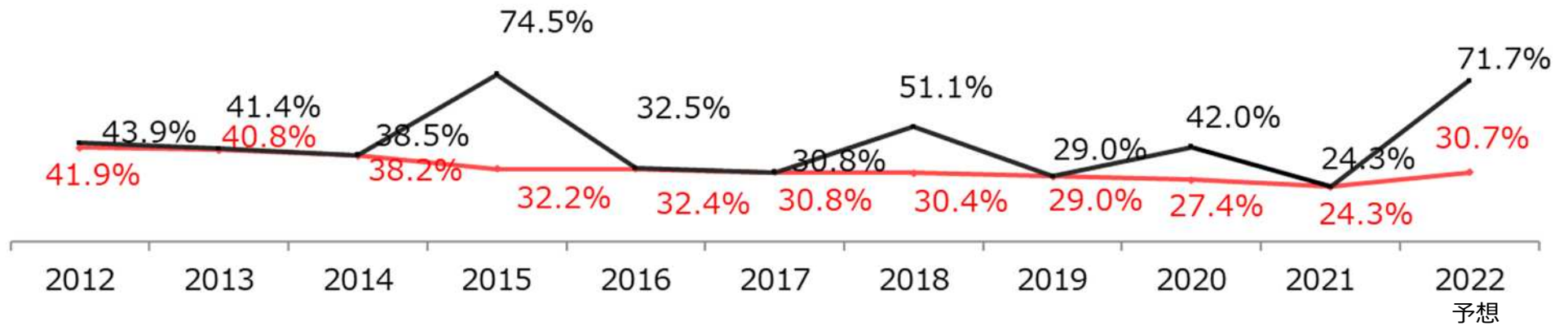
2022年11月期は中間配当を当初計画より2円増配し、1株あたり14円を予定。年間では1株あたり30円を予定。



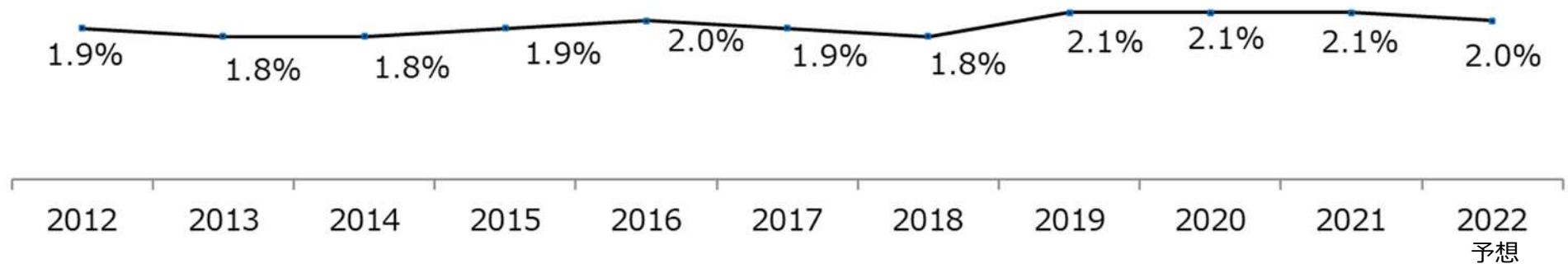
配当指標



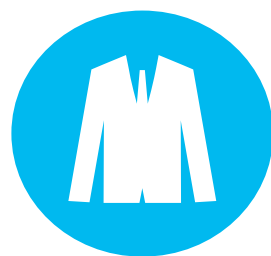
— 配当性向 — 総還元性向



— 株主資本配当率 (DOE)



5.トピックス



ニッケ東京ビル建替え事業に着手



環境に配慮したニューノーマル時代のシンボルを目指して

当社は、東京都中央区八丁堀一丁目におけるニッケ東京ビルの建替え事業(以下「本計画」)に着手することを決定いたしました。本計画は、住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：兵頭誠之）との共同プロジェクトであり、竣工は2024年秋を予定しています。

本計画は、八重洲通りのほぼ中央に位置する敷地に、地上12階建のオフィスビルを開発するものです。充実した設備スペックに加えて、今後はZEB※ Ready認証の取得、オフィスワーカーの多様な働き方が可能となる開放的な屋上ワークスペーステラスの整備、ニューノーマル/After コロナ時代に向けた最新技術の導入により、環境への配慮とワーカーが快適かつ安心して働くことのできるオフィス空間を提供します。また、公共的屋外空地を敷地内に設けることで、八重洲通り沿いの緑や空地（久安橋公園等）などの街並みとの調和と、地域の賑わいを創出します。視認性の高い建物コーナー部分を特徴的なデザインとすることで地域のランドマークとなるシンボリックな建築物を目指します。



ニッケ東京ビル（東京都中央区八丁堀）

※ ZEB (Net Zero Energy Building)

革新紡績糸「Breeza[®]」の増産投資



生産能力を現在の約3倍に増強

当社グループでは、人と地球に「やさしく、あったかい」という経営理念のもと、持続可能な社会の実現に向けた貢献と企業の永続的な成長と発展を目指してサステナブル経営を進めております。今般、衣料繊維事業において、環境に配慮した革新紡績機の増設に約3億円の設備投資を決定いたしました。

衣料繊維事業本部は、SDGsビジョン「Weaving for the future～未来を織りなす～」を掲げ、人と環境に配慮した製品開発など全ての活動においてSDGsを意識した取り組みを推進しております。また、独自技術を用いた紡績糸による販売拡大を事業戦略の一つの柱として位置付けております。この度、設備の増設を決定した環境配慮型の革新紡績糸「Breeza[®]（ブリーザ）」は、2018年に試験機を導入し、数多くの改良を重ねて量産化に成功した当社独自の紡績技術※によるものです。Breeza[®]は、当社従来品に比べ消費エネルギーをCO₂換算で約55%削減し、着用中や洗濯中のマイクロプラスチックの放出を約75%削減する環境配慮型の画期的な革新紡績糸であり、既に主力事業である学生服向け生地を中心として販売を開始しております。

Breeza[™]

ブリーザ

Breezaは、サイクロンスピン製法により、人と地球に優しい未来を実現する紡績糸です



最大生産能力：180t/年（現有能力60t/年）
投資金額：約3億円
導入時期：2023年11月末 本格稼働予定

ライフサポート関連事業の拡充



トータルリハビリテーショントリア、ニッケゴルフスクールユニオン緑が丘開業

ニッケグループは、2022年4月1日に、リハビリと鍼灸の2つの施術を組み合わせたリハビリテーション施設「トータルリハビリテーショントリア（千葉県市川市）」ならび、ゴルフスクールとしては「ニッケゴルフスクール加古川（兵庫県加古川市）」に続く全国2カ所目となる、「ニッケゴルフスクールユニオン緑が丘（千葉県八千代市）」を開業しました。

ニッケグループでは、保育や介護、スポーツ施設の運営等の人々の生活を支えるライフサポート関連事業に力を入れています。今後も、すべての人が生きがいを持って活躍できる街づくりに貢献してまいります。



トータルリハビリテーショントリア（千葉県市川市ニッケゴルフクラブ内）



ニッケゴルフスクールユニオン緑が丘（千葉県八千代市）

サステナビリティ委員会の設置

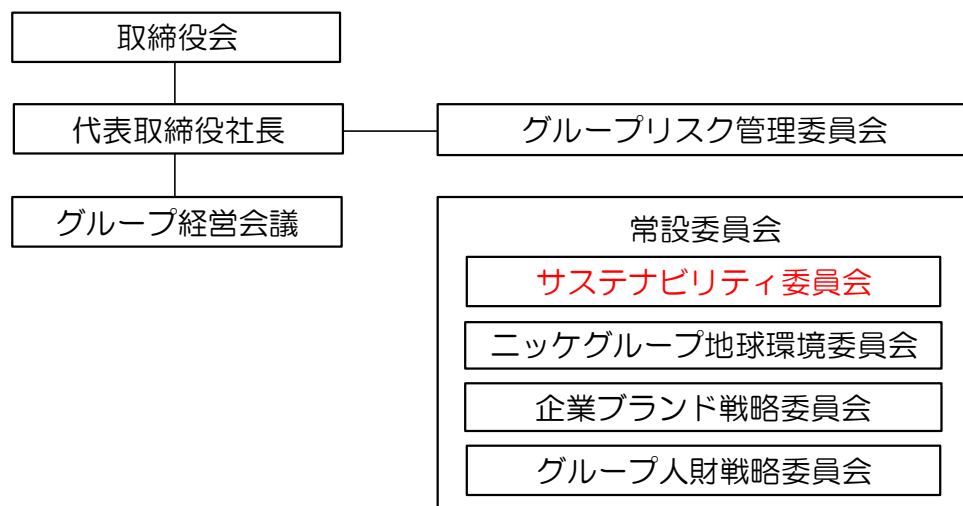


持続可能な社会の実現に向けて

ニッケグループは、地球環境問題、人権の尊重、取引先との公正・適正な取引など、サステナビリティをめぐる課題への対応が経営の重要課題の一つであると認識しており、それらを経営に取り込むことにより、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、ニッケグループの永続的な成長に寄与するものと考えております。

当委員会は、ニッケグループの永続的な成長と持続可能な社会の実現を目指し、重要課題（マテリアリティ）を認識し、これらに対する対応方針や活動のモニタリングの統括や評価、啓蒙活動など、ニッケグループ全体での取り組みを推進してまいります。また、サステナビリティ戦略の立案、目標の設定等を行い、重要な議題は取締役会の決議を経て、ニッケグループ内に展開いたします。

サステナビリティ委員会の構成



ニッケグループの重要課題（マテリアリティ）

マテリアリティ	関連する SDGs				
安全・安心への取り組み	9 産業と雇用 の創出	12 つくる責任 つかう責任			
健康・快適への取り組み	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	11 住み続けられる まちづくりを		
環境への取り組み	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 再生可能エネルギー をこころよく	13 気候変動に 適応する	14 海の豊かさ を増やす	15 陸の豊かさを 保つ

自己株式の取得に係る事項の決定



資本効率の向上、企業価値・株主価値の最大化をめざす

当社は、2022年4月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

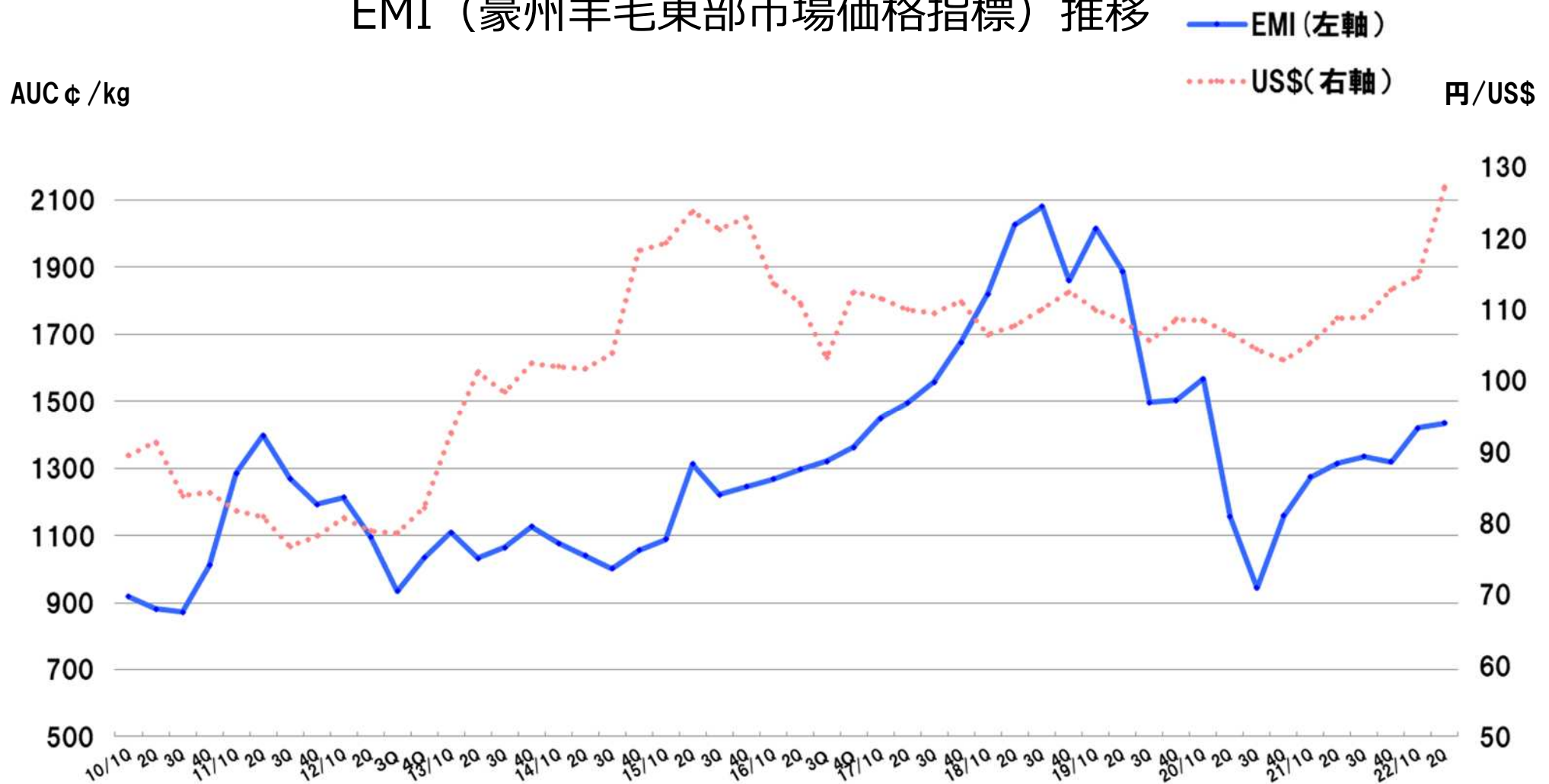
<取得の内容>

- | | |
|---------------|--|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 300万株（上限とする）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合：4.07%） |
| (3) 株式取得価額の総額 | 36億円（上限とする） |
| (4) 取得する期間 | 2022年4月13日～2022年9月30日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

6. 参考資料

羊毛相場・為替相場の推移について

EMI（豪州羊毛東部市場価格指標）推移



株価チャート

期間：2021/6/1～2022/5/31（直近1年）



<当社株価チャート>



<日経平均比較チャート>





本資料の取り扱いについて

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画に関する記述等は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。